

# 畜産ニュース

## ◎ 近畿酪農協議会岡山市で開催

去る7月19日、午後2時から岡山市の三好野会館で、近畿地区の4府県（兵庫、京都、滋賀）と、徳島及び岡山県の各府県生産者団体の代表が集まり、近畿地域の酪農協議会が開かれた。本県からは荒木農林部長、蔵知畜産課長が出席したが、会議は各県の最近の牛乳の取引状況、原料乳価、小売価格など酪農事情についての説明が行われ、特に生乳の共同出荷販売については、全国的に優れた方法として注目されている岡山県酪連による共販出荷の状況が説明され、質疑応答、役員の変更などを行った。そして酪農の順調な発展のためには、今後は生産者団体だけでなく各県の行政庁とも十分に連絡を取って協力を得ることが必要であり、この面にも力を入れて行くよう申し合わせた。

また、同時に荒木部長から最近視察して帰ったアメリカの酪農事情について講演があり、翌日は津山市の県酪農試験場、北部落農協および周辺農家の視察を行った。

## ◎ 昭和35年度有畜農家創設事業融資割当きまる

昭和35年度有畜農家創設事業融資限度割当表

家畜別		乳牛	役肉用牛	輸入ジャージー種乳牛	計
農林別	頭数及び融資額				
岡山	頭数	330頭	80頭	—	410頭
	融資額	21,450千円	2,560千円	—	24,010千円
和気	頭数	240	40	—	280
	融資額	15,600	1,280	—	16,880
倉敷	頭数	120	70	—	190
	融資額	7,800	2,240	—	10,040
笠岡	頭数	280	—	—	280
	融資額	18,200	—	—	18,200
高梁	頭数	260	140	—	400
	融資額	16,900	4,480	—	21,380
新見	頭数	20	—	—	20
	融資額	1,300	—	—	1,300
勝山	頭数	210	200	200頭	610
	融資額	13,650	6,400	7,280千円	27,330
津山	頭数	230	220	—	450
	融資額	14,950	7,040	—	21,990
美作	頭数	310	100	—	410
	融資額	20,150	3,200	—	23,350
計	頭数	2,000	850	200	3,050
	融資額	130,000	27,200	7,280	164,480

県では、かねて本年度の有畜農家創設事業資金による家畜導入の希望を取りまとめ、農林省へ申請していたが、この程融資限度割当について農林省から通知があり、次のとおり県内の割当が決まった。

## ◎ 草に関する講演会

去る7月21、22の両日、岡山市の岡山県遺族会館および、津山市の鶴山館で、それぞれ午前10時から草に関する講演会が開催された。

講演は、日本加里研究会長G・ケムラー氏が午前中「外国人のみた日本の飼料作物について」、午後は日本草地研究会長、斉藤道雄氏の「草の栄養価と畜産」と題しての2題で、このほか映画「草原地帯」の上映があり午後3時半までの間畜産団体、市町村の技術員を始め、一般農家、県関係職員など多数が終始熱心に受講し、草に関する認識を新にした。

## ◎ 酪農改善事業実施地区に31市町村を指定

本年度の事業実施地区として県畜産課では去る7月27日、昨年度の35市町村に続いて新たに31市町村を指定した。これは集約酪農地域の内外を問わず特定の市町村を指定して酪農の経営改善を進めていこうというもので、指定市町村に対しては国、県が産乳能力検定事業など酪農関係助成事業を優先的に割当て、酪農家の地域的な指導を行うことになっている。

## ◎ 畜産団体統合の動き

去る7月20日、岡山県畜産農協組織整備促進協議会（川上光市会長）が岡山市東田町の県産業会館で開かれ、県農協中央会、畜産会、県畜連各郡畜連関係者、県関連課などが出席して総合畜産設立の構想について協議したが、その結果、現在ある県畜連と14の郡畜連のうち阿哲郡を除いた13の畜連が11月1日を目標に1本化することを申し合わせた。

岡山畜産便り 1960.08

◎ **県北部乳牛共進会**  
**来月 21 日開催**

県北部酪農協主催の第 8 回県北部乳牛共進会が、9 月 21 日津山市小田中の家畜市場で 70 頭が参加して行われる。出品資格は北酪組合員が 6 ヶ月以飼育した健康証明書のあるもので、出場内訳はホルスタイン仔牛 15 頭、同未経産 18 頭、同経産 17 頭、ジャージー未経産 10 頭、同経産 10 頭の予定である。

郡市別の出品割当は次のとおり。

英田 7、勝田 12、津山 12、苫田 4、久米 7、  
真庭 13、蒸山地区 15